

2022年度国家予算法の承認

2021年12月23日に2022年度国家予算法がアリエフ大統領によって承認されました。そのポイントと詳細についてご報告いたします。

【ポイント】

- 予算基準油価は、引き続き不透明な世界経済情勢に鑑み、1バレル45米ドルで設定されました(注:2019年度は60米ドル、2020年度は当初55米ドルで設定されましたが、年度途中で35米ドルに再設定。2021年度は40米ドル。)
- 歳入・歳出共に前年を上回り、歳入は前年比5.5%増、歳出は前年比3.7%増となりました。
- 歳入に関し、国家石油基金(SOFAZ)からの納入金は前年比4.2%増、税収入及び関税収入は共に前年から15%前後増加しています。なお、SOFAZ 納入金(石油・天然ガス収入)は歳入全体の約5割と依然として大きな割合を占めています。
- 歳出に関し、「経済活動費(注:公共投資等)」が歳出全体の2割(約59億マナト)を占め金額でトップとなり、昨年度同様、その内の22億マナトが新たに設けられた「解放地域の復興事業費」に割り当てられています。国防費は、前年比では2.1%減少していますが、歳出全体に占める割合は2番目に多く約45億マナト(歳出全体の15%)となりました。2021年には2020年比18%と大幅に削減されていた「医療」分野に対する支出ですが、2022年予算では2020年度水準まで戻されています。

【予算の詳細】

(1) 歳入総額

約268億マナト(前年比5.5%増)

(2) 歳入内訳(括弧内は前年比、全体に占める割合変化(2021年→2022年))

● 国家石油基金(SOFAZ)納入金:約127億マナト(+4.2%、48.0%→47.4%)

● 税収入:約114億マナト(+15%、41%→42%)

その内:

・法人所得税:約27億マナト(+24.5%、8.4%→10.0%)

・個人所得税:約15億マナト(+29.1%、4.5%→5.5%)

・付加価値税:約53億マナト(+12.1%、18.5%→19.7%)

● 関税収入:約12億マナト(+21.1%、3.7%→4.3%)

● その他(政府保有株式配当や国有地貸与料金):約15億マナト(▲37.2%、9.5%→5.6%)

(3)歳出総額

約299 億マナト(前年比3.7%増)

(4)歳出内訳(括弧内は前年比、全体に占める割合変化(2021 年→2022 年))

●経済活動費(公共投資等):約59億マナト(▲0.3%、20.6%→19.9)

その内、「建設・街づくり」に約50億マナトを割り当て(内、「解放地域の復興事業費」に約22億マナトを割り当て;2021 年と同額)

●国防費:約45 億マナト(▲2.1%、15.9%→15.0%)

●公共サービス:約43 億マナト(+2.5%、14.4%→14.3%)

●社会保障:約36億マナト(▲3.4%、12.8%→11.9%)

●教育:約39 億マナト(+18.5%、11.4%→13.0%)

●司法、法執行機関、検察:約23 億マナト(+12.9%、7.3%→7.9%)

●保健:約18 億マナト(+26.9%、4.9%→6.0%)

●農業:約 10 億マナト(+5.8%、3.3%→3.3%)

●その他(予備費等):約 16 億マナト(▲9.3%、6.1%→5.3%)

(以上)